



安井小学校 学校だより

元気いっぱい

～いきいきコミュニケーション～

特別号

平成 26 年 12 月 18 日
京都市立安井小学校
校長 坂本 香代子



◆平成 26 年度 第 1 回 学校評価のまとめ◆

学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

今後も皆様からのご意見をしっかり受け止め、日々の指導に生かしていきたいと考えています。

裏面にアンケート結果をのせています。あわせてご覧ください。

◎学校生活

「学校に行くのが楽しい」と回答した子どもは、低学年 97%、高学年は 83% と回答しています。また、保護者評価も 96% となっています。

学校といたしましても学級担任を中心に、子ども一人ひとりの思いに耳を傾け、すべての子どもが学校生活を楽しく思えるように教職員全員が努めていきたいと思っています。

◎学習面

「授業はわかりやすく楽しい」について、低学年は約 95% と多いですが、高学年になると約 74% になります。高学年になると、学習内容も難しくなり、わかりやすく楽しいという状況にはならないのかもしれませんが、また、「授業中は進んで手を挙げて発表している」についても低学年は 83%、高学年は 53% になっています。

保護者からは、「学習内容がよくわかり、基礎・基本の学力がつくように指導している」で 9 割以上の方々から、「よくできている」「できている」と評価をいただきました。

学力に関して、チャレンジタイムや放課後の補習など、時間の確保をしたり、個に応じた学習の進め方の工夫をしたりと意欲的に取り組めるような指導を心がけていますが、さらに工夫を重ねていきたいと思っています。そして、子どもたちが日々の学習に対して充実感を持って取り組んでいけるように進めていきたいと思っています。

◎家庭学習

「宿題など、家で勉強をしている」は、児童が 89.9%、保護者が 71.8% でできていると回答しています。しかし、児童と保護者との間に 20% 近い意識の違いがあります。朝、始まるまでに間に合えばいいという思いで朝休みに学校でしたり、家でするとしても言われなければできなかったり等々で、評価結果に違いが出ているのかもしれません。

基礎学力の定着を図り、学習方法を習得するためにも家庭学習の大切さを指導し続けたいと思います。

◎読書

「朝の 10 分間読書は、静かに本を読んでいる」は、児童の 87.5% ができていると回答しています。子どもたちはどの学年も毎朝、読む本を選んで静かに読書をしています。そして落ち着いた雰囲気の中で 1 時間目の授業に向かうことができている。しかし、決められた時間は読書をしませんが、休み時間に読書をしたり、図書室を利用したりする子はあまり多くありません。保護者評価では、「すすんで読書をしている」44.9% でした。家庭でじっくりと読書する姿を目にする機会は少ないようです。

小学校の間にしっかり読む習慣をつけることが、将来において語彙力や伝える力、読み取る力につながっていきます。今後も重点的に推進していきます。

◎基本的生活習慣

「早寝・早起きをしっかりとするなど健康に気を付けて過ごしている」について、学年が上がるにつれて、評価が下がってしまうのは仕方のないことかもしれませんが、できるだけ早く就寝し、7 時には起床するという習慣をつけていただきますようお願いします。

子どもたちは、心も体も大きく成長するときです。そんな子どもたちにとって、この時期の早寝・早起きは大変重要になってきます。

また、今回のアンケート項目にはありませんでしたが、子どもたちのテレビを見る時間が長いのが気になります。遅くまでテレビを見ていて、就寝時間に影響を及ぼしていることもあります。ご家庭でテレビを見る時間を決めたり、テレビを消して読書や団楽の時間にしたりしていただけたら嬉しいです。どうぞよろしくお願いします。